

日本中東学会第25回年次大会暫定プログラム

2009年5月16日(土) 広島国際会議場 (<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>)

13:30～16:45 公開シンポジウム「暴力と平和を考える——ヒロシマの視点から」
パネリスト

- 田城明(中国新聞社)
- 中坂恵美子(広島大学大学院社会科学研究科)
- 浅井基文(広島市立大学広島平和研究所)

17:00～18:00 日本中東学会総会・日本中東学会奨励賞授賞式

18:15～20:15 懇親会

2009年5月17日(日) 広島市立大学 (<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>)

研究発表

第1部会

9:30～10:10 近藤信彰(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
「19世紀後半テヘランのシャリーア法廷台帳」

10:10～10:50 秋葉淳(千葉大学)
「1845年の地方代表者会議——タンズィマート期オスマン帝国の実験」

11:00～11:40 齊藤優子(立教大学大学院)
「19世紀オスマン帝国における近代化と西欧化——ルメリ鉄道建設を事例として」(仮題)

11:40～12:20 千條真理子(明治大学大学院)
「イスラーム学術委員会に関する一考察」

13:20～14:00 平野淳一(京都大学大学院)
「近代イスラーム改革主義者とパン・イスラーム主義——ムハンマド・アブドゥとラシード・リダーのスナ派/シーア派関係論」

14:00～14:40 高岩伸任(一橋大学大学院)
「ワクフと英信託制度の比較研究」

15:00～15:40 渡邊祥子(東京大学大学院)
「1940～50年代ムスリム・スカウト運動に見るアルジェリアのナショナリズムとイスラーム主義」

15:40～16:20 若桑遼(上智大学大学院)
「独立前チュニジアにおけるウラマーの国家観——ザイトゥーナ誌の分析から」

16:20～17:00 佐藤尚平(St Antony's College, University of Oxford)
「アラブ首長国連邦、バハレーン、カタールの完全独立と英国の撤退」

第2部会

- 10:10～10:50 辻明日香(東京大学大学院)
「コプト聖人バルスーマーと14世紀エジプト社会」
- 11:00～11:40 篠田知暁(京都大学大学院)
「ワッター朝期モロッコ北部農村における王権と聖性」
- 11:40～12:20 菅瀬晶子(総合研究大学院大学)
「パレスチナ・イスラエルにおける聖者アル・ハディル崇敬」
- 13:20～14:00 役重善洋(京都大学大学院)
「内村鑑三および矢内原忠雄におけるキリスト教シオニズム」
- 14:00～14:40 Aleksandra Majstorac Kobiljski (City University of New York)
“From Beirut to Kyoto: Travels and Trials of an Educational Model”
- 15:00～15:40 ナグラ・ハフィズ(Naglaa Fathy Hafez) (東京大学)
「寺山修司と唐十郎による中東世界のイメージ形成及び日本社会の描写——『千夜一夜物語』をケーススタディーとして」
- 15:40～16:20 小村明子(上智大学大学院)
「日本のイスラーム——『アッサラーム』誌からみる終戦以降の日本のイスラーム」(仮題)

第3部会

- 10:10～10:50 鷺見朗子(京都ノートルダム女子大学)・鷺見克典(名古屋工業大学)
「アラビア語学習者におけるアラブ文化への興味と習得内容」
- 11:00～11:40 アルモーメン・アブドラー(Abdalla El-Moamen) (大東文化大学)
「日本語とアラビア語の「死」に於ける概念構造——慣用的メタファー表現に見る比喩の特性」
- 11:40～12:20 細谷幸子(東邦大学)
「現代イランの移植医療とイスラーム」
- 13:20～14:00 小島宏(早稲田大学)
「マレーシア人ムスリム元留学生の滞日中の宗教実践」
- 14:00～14:40 石川真作(京都文教大学)
「オーストリアにおけるイスラームを巡る状況に関して——歴史的環境と現状」
- 15:00～15:40 椿原敦子(大阪大学大学院)
「ロサンゼルスにおけるイラン系ムスリム組織の出現——イラン系イスラミックセンターにおける参与観察を中心に」

第4部会

- 9:30～10:10 鳥山純子(お茶の水女子大学大学院)
「現代エジプトにおける女性教師の商品化——教育の民営化と社会階級指標化の一側面」(仮題)

- 10:10～10:50 Humayun Kabir(広島大学大学院)
 “Marginalized *‘ulama* and the Emerging *Madrassa* Schooling in Bangladesh: The Case of Brahmanbaria Municipality”
- 11:00～11:40 杉山佳子(上智大学アジア文化研究所)
 「ルイ・マシュエルとチュニジア教育改革(1883-1908年)」
- 11:40～12:20 黒田賢治(京都大学大学院)
 「現代イランにおける中堅法学者の台頭——コム・ハウザ講師組合(JMHEQ)の組織構造と運営実態をめぐって」
- 13:20～14:00 相島葉月(St Antony’s College, University of Oxford)
 「現代エジプトのイスラーム的知の生産における独自性の位置づけ——アブドゥルハリーム・マフムードのハディース講釈に見られる創造性と様式美」
- 14:00～14:40 浜本一典(同志社大学大学院)
 「イスラームの法原則——研究の歴史と現状と課題」
- 15:00～15:40 宮下 遼(東京大学大学院)
 「『描写の書』に見るオスマン朝詩人の人間観察——ファキーリーを中心に」
- 15:40～16:20 田熊友加里(日本女子大学大学院)
 「近代ヨーロッパにおける『ペルシア絨毯』の受容——個人的愛好から大衆鑑賞への広がり」
- 16:20～17:00 飯野りさ(国立民族学博物館)
 「東アラブ音楽文化圏における音楽理論と近代——1932年アラブ音楽会議を中心に」

第5部会

- 10:10～10:50 長岡慎介(京都大学大学院)
 「近代イスラーム経済学の形成と現代イスラーム金融」
- 11:00～11:40 堀抜功二(京都大学大学院)
 「ドバイ首長国におけるグローバル化戦略と行政改革」
- 11:40～12:20 清水 学(帝京大学)
 「世界同時不況と中東諸国の対応」(仮題)
- 13:20～14:00 関口陽子(東京大学大学院)
 「現代トルコの政治エリート」(仮題)
- 14:00～14:40 岩坂将充(上智大学アジア文化研究所)
 「トルコにおける政軍関係の歴史的展開——政軍関係研究の視点からの再検討」
- 15:00～15:40 荒井康一(上智大学アジア文化研究所)
 「現代トルコ農村社会における資源利用と投票行動——南東アナトリア開発計画(GAP)の事例から」
- 15:40～16:20 若松大樹(上智大学大学院)

「クルド系アレイブの人々の民族帰属に関する一考察——東部アナトリアムシュ県における事例を中心に」

第6部会

10:10～10:50 佐藤秀信(法務省)

「イラン・ハーメネイー体制期(1989-2008年)における軍の社会介入」

11:00～11:40 金谷美紗(上智大学大学院)

「グローバリゼーションで深化する権威主義体制——エジプトにおけるレジームと企業家層の関係に注目して」

11:40～12:20 横田貴之((財)日本国際問題研究所)

「現代エジプトにおける権威主義体制とイスラーム運動——ムスリム同胞団の合法政党化に関する一考察」

13:20～14:00 平松亜衣子(京都大学大学院)

「現代クウェートにおけるイスラームと民主化——市民社会の形成と女性の政治参加を事例に」

14:00～14:40 錦田愛子(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

「レバノン内戦後のパレスチナ難民——政治的位置づけの変化と法的地位」
(仮題)

15:00～15:40 溝渕正季(上智大学大学院)

「抵抗運動と社会活動の接続点——レバノン・ヒズブッラーの「抵抗社会」の分析を中心に」

15:40～16:20 小林和香子(早稲田大学大学院)

「イスラエル・パレスチナ間の平和構築の取組みとしての People-to-People プログラムの現状と課題」